

平成28年度 発注企業及び受注企業の現況に関する調査 結果概要

○ 調査目的

県内の企業の個別の受発注方針、受注企業の設備導入状況の把握を目的とし、個別あっせんや商談会の効率的な開催につなげる。併せて県内の受発注企業の経営方針等についての動向を調査する。

○ 調査方法

調査方法：FAXにより、調査票を配布・回収

調査期間：平成29年1月24日～平成29年2月28日

○ 調査対象企業 及び 回答状況

発注企業：対象 428社 → 回答 80社 (回収率 18.7%)

受注企業：対象 1,887社 → 回答 442社 (回収率 23.4%)

○ 調査結果の概要

1. 発注企業の現況に関する調査

(1) 経営状況

- ・「現在の経営状況」は58.8%が、「今後の経営状況予測」は42.5%が「普通」と回答。回答企業の業種による差異は見られたが、「現在」・「今後」共に「良い・やや良い」との回答が「やや悪い・悪い」を上回った。
- ・「今後の経営方針」については「現状維持」が46.8%、「事業拡大」が44.3%で、大きな差はなかった。

(2) 外注の状況

- ・前年比で見た「外注量」は「変化なし」が38.5%と最多、「外注単価」も「変化なし」が61.8%と最多。
- ・「増産計画」については「検討中・未定」が40.3%と最多、「計画あり」との回答は26.0%であった。
- ・「今後の外注方針」は「既存外注先に発注」が54.5%で最多、次いで「内製化」の35.1%であった。「新規外注先を開拓」は29.9%、「外注化を進める」は13.0%であった。
- ・「外注先の開拓方法」は「外注先企業からの営業」が57.3%と最多で、「各種展示会参加」は28.0%、「商談会参加」は25.3%であった。

(3) 栃木県の重点分野での事業展開

- ・「現在展開中」は「自動車産業」の37.3%が最多、「今後の興味」は「医療機器産業」の12.5%が最多。

2. 受注企業の現況に関する調査

(1) 経営状況

- ・「現在の経営状況」は41.5%が、「今後の経営状況予測」は45.6%が「普通」と回答。回答企業の業種による差異は見られたが、「現在」・「今後」共に「やや悪い・悪い」との回答が「良い・やや良い」を若干上回った。
- ・「経営上の問題」は「受注量の確保」の65.8%が最多、「今後の方針」では「取引先拡大」の68.2%が最多。

(2) 取引先からの受注状況

- ・前年比で見た「受注量」は「やや増加」が30.4%と最多だったが、「大幅増加～やや増加」の計が40.2%、「やや減少～大幅減少」の計が36.7%と差はなかった。「受注単価」については「変化なし」の62.2%が最多。
- ・「最大取引先からの割合」は「21%～40%」が32.5%と最多だったが、「61%～」との1社依存傾向の回答が24.5%あった。
- ・「新規受注のための活動」は「自社による開拓」が59.1%で最多、「他社・取引先からの紹介」は49.9%、「商談会への参加」は25.9%であった。

(3) 生産設備等の導入

- ・過去1年間の「新規導入又は更新」は50.4%、「工場等設置」は4.0%であった。

(4) 栃木県の重点分野での事業展開

- ・「現在展開中」のは「自動車産業」の43.3%が最多、「今後の興味」は「ロボット産業」の23.1%が最多。

(5) 海外展開の状況

- ・「海外展開の状況」は「興味がない」が50.6%、「興味はあるが計画なし」が33.9%、「展開中」・「新規展開計画」・「拡大計画」の計は16.9%であった。展開・計画先の地域はアジア・東南アジアが73.9%を占めた。